

豊明市災害廃棄物仮置場 設置・運営訓練を実施

令和4年2月5日（土）午前9時から豊明市勅使グラウンド（豊明市沓掛町勅使）において、豊明市と当協会の災害廃棄物処理対策に関する特別委員会（以下「特別委員会」という。）と尾張北支部会員企業（大和エンタープライズ（株）、（株）リョクリン、（株）中西、トヨタケユニティ（株））が中心になって、豊明市災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を実施した。



小浮正典市長



山本浩也委員長

この訓練は、豊明市、特別委員会および尾張北支部（南村朋幸支部長始め支部役員）とで準備を進め、令和4年2月に策定した「災害廃棄物処理一次仮置場運営マニュアル」の実効性を高めるために行った初めての取組です。

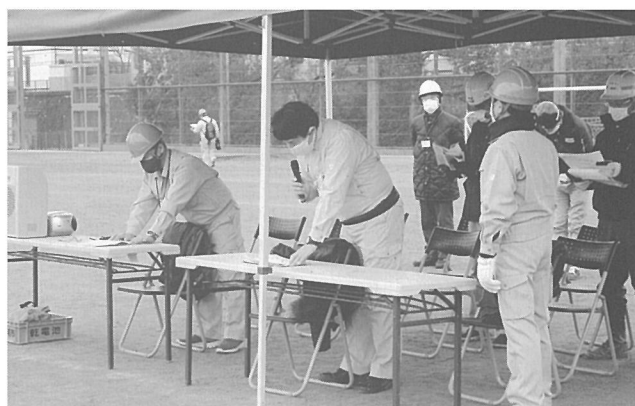
この訓練の想定は、令和4年2月2日午前11時05分、遠州灘から四国沖までを震源域とするマグニチュード8.6のプレート連動型地震が発生し、豊明市内も震度6強の地震を観測し、家屋倒壊が多数発生している状況である。

同年2月5日午前9時06分、豊明市環境班は災害対策本部からの災害廃棄物仮置場設置の指示を受け、勅使グラウンドに仮置場を設置し、災害廃棄物の受け入れ・搬出の運営を発災から72時

間以内の2月5日午前10時から開始するという想定で行われました。

訓練は雪の舞う中、豊明市からは小浮正典市長ら11名、協会からは、永井良一会長、特別委員会委員長の山本浩也氏を始め28名が参加して行われました。

①情報伝達訓練では「豊明市業務継続計画」及び「豊明市災害廃棄物処理計画」に基づく情報伝達を携帯無線設備や携帯電話を使用して行われた。



情報伝達訓練

②仮置場設置（資機材設置等）訓練では、仮置場のレイアウト図に従い、工事用カラーコーンで車の通路を分けし、冷蔵庫、畳、エアコン、木くずなど21種類の品目ごとの立て看板を立て、各区域で受け入れる廃棄物の種類を明示した。



仮置場設置訓練

③災害廃棄物の受付・受入訓練ではグラウンドの搬入口に3列の市民搬入待機場所が設けられ、熊本県人吉市で効果のあった「分別搬入を優先して受入するファーストレーン方式」の採用などの工夫がされていた。また、仮置場設置時に搬入口とするフェンスを開口する場所も明示され、開口する箇所の確認も行われた。



ファーストレーン方式

④災害廃棄物の搬入・積み下ろし訓練では、実際に冷蔵庫や、洗濯機、マットレスなどを乗せた軽トラックから廃棄物を下ろし、区画された仮置場に運び込む訓練が行われた。



災害廃棄物の搬入・積み下ろし訓練

⑤災害廃棄物の搬出では、大型のトラックで仮置場から搬出する流れを確認した。



災害廃棄物の搬出訓練



災害廃棄物の搬出訓練

災害廃棄物処理は初動が命であり、災害廃棄物処理をスムーズに行い、リサイクル率を高めるためには、いかに早く、仮置場の設置・運営に取りかかり、市民の分別搬入に結びつけることができるかにかかっている。

協会としても豊明市と共同で行った初めての訓練であり、非常に有意義なものであった。これからは、他の市町村とも訓練の実施ができるよう働きかけて行きたい。